

令和8年度文化審議会文化財分科会企画調査会(第7回)

伝統芸能文化創生プロジェクトの取組と 伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィスの役割

京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課長
倉谷 誠

伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィス 研究員
萩原 麗子

伝統芸能文化創生プロジェクトの機能

■「伝統芸能文化創生プロジェクト」と「伝統芸能文化センター」構想

「伝統芸能文化センター」は、2011年に京都市が策定した「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）基本構想」（素案）に示されている“伝統芸能文化の継承・創造の拠点施設”です。センターが備えるべき機能として、以下の6つが掲げられています。

- 1 伝統芸能に関する学術研究
- 2 伝統芸能に関する創造・普及
- 3 楽器・用具用品に関する相談・支援
- 4 ネットワーク・コーディネート
- 5 全国発信・地域間交流
- 6 海外発信・国際交流

この6つの機能の実現のため、2007～2013年度には「京都創生座」、2009～2016年度には「五感で感じる和の文化事業」等を先行して実施しました。これらの事業では、流派を越えて伝統芸能の持つ力を引き出し、創作・公演、国内外への発信・交流、一般市民への普及等に取り組みました。その成果を引き継ぎ、2017年度からは「伝統芸能文化創生プロジェクト」として、上記の6つの機能をさらに強化するための活動を行っています。この「伝統芸能文化創生プロジェクト」を推進する主体となるのが、京都市と京都芸術センター（2007～2022年）、公益財団法人京都市芸術文化協会（2023年～）から設置する伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス（TARO）です。

伝統芸能文化センター構想

■ 「伝統芸能文化センター」構想の経緯

2003 年度	京都創生懇談会より「国家戦略としての京都創生の提言」提出
2004 年度	「歴史都市・京都創生策」策定
2006 年度	京都創生研究会「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）」分科会を設置。2008 年度まで検討（全 9 回開催） 「歴史都市・京都創生策 II」策定→国へ要望 「京都文化芸術都市創生計画」策定→「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）の整備」が重点課題に
2007 年度	「京都創生座」事業の実施（～2013 年度）
2009 年度	「五感で感じる和の文化事業」の実施（～2016 年度）
2011 年度	「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）基本構想（素案）」策定→国へ要望（以降 2017 年度まで要望） 「京都文化芸術都市創生計画 改定版」策定→重要施策群 1：継承と創造に関する人材の育成等に位置付け
2014 年度	「創生劇場」の実施（～2016 年） 「京都文化芸術プログラム 2020」策定→プログラムを牽引する重要事業に位置付け
2016 年度	「第 2 期 京都文化芸術都市創生計画」策定→ 8 つの最重要施策のうちの 1 つに位置付け
2017 年度	「伝統芸能文化創生プロジェクト」の実施 「伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィス」を京都芸術センター内に設置



五感で感じる和の文化事業 月イチ★古典芸能シリーズ 市民への伝統芸能文化の体験、講座



伝統芸能アーカイブ & リサーチオフィス

■ 実施事業一覧

2025年度事業報告書より

a ネットワーク構築

— ネットワーク先リスト

b 伝統芸能文化の現代に適応した形での活性化

— 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム

c プロジェクト報告会／シンポジウム・実演

d 相談窓口

e 共催・参加・委託事業

【共催事業】

第一回 民俗芸能交流サロン

第二回 民俗芸能交流サロン

【参加事業】

2025 祇園祭×NHK 京都

東アジア文化都市一大邱、京都、長沙「三つの都市、ひとつの響き」

【委託事業】

令和7年度 文化庁文化財用具・原材料等代替品実用化研究（三味線胴皮）

f ウェブサイトとYouTubeチャンネル運営

g 伝統芸能文化創生プロジェクト推進会議委員より



京都芸術センター内にオフィス設置



演劇や音楽、ダンスなど舞台芸術や美術など他分野のプロジェクトに携わるスタッフとシェアオフィスにすることで、様々な情報共有や交流を日常的に行っている

TAROの相談窓口対応

質問・相談者	連絡方法	質問・相談内容
アーティスト ----- 4 実演家(古典芸能) ----- 36 実演家(民俗芸能) ----- 104 職人 ----- 7 研究者 ----- 18 一般 ----- 5 企業 ----- 55 団体・公共施設 ----- 72 地方自治体 ----- 61 メディア・プレス ----- 6 (件)	電話 ----- 91 メール ----- 126 対面 ----- 147 オンライン ----- 3 その他 ----- 1 (件)	TARO の活動について ----- 54 取材依頼 ----- 10 復元・活性化共同プログラムに関する質問 ----- 77 映像撮影・配信に関する相談 ----- 9 活動・取組の相談 ----- 117 ネットワーク構築 ----- 98 その他 ----- 3 (件)
	地 域	
	京都府内 ----- 237 京都府外 ----- 131 (件)	(2025 年4月1日から2026 年2 月28 日現在) 368 件

※古典芸能・民俗芸能に用いられる用具等
に関連する相談が3割弱

伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム

1. 目的・特徴

伝統芸能に用いられる楽器・用具用品の復元や、伝統芸能文化を現代に適合した形で活性化させようとする取組を、TAROと共同で実施します。

2. 募集する事業

- ア 伝統芸能文化の保存、継承、普及、活用のために必要な取組
- イ 継承に関して緊急性・必要性が高く、関係機関の協力が必要な取組

3. 対象者

研究者及びコーディネーター、実演家、職人、地域の文化を保存する方々など

4. 伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィスが負担する金額の上限

上限70万円

5. 募集期間

2025年4月1日(火)～6月27日(金)



ゴッタンプロジェクト 楽器製作過程の記録



重厚意匠の写し扇の製作工程の記録



嵯峨牡丹鉾、剣鉾の剣の物性調査

伝統芸能文化の定義

伝承者と鑑賞者	古典芸能	民俗芸能
	専門の実演家によって、目の肥えた観客を相手に演じられてきた。	芸能専門ではない伝承者によって、信仰行事の一環として、神仏に奉納するために演じられてきた。
内 容	古典芸能	民俗芸能
	日本で近世以前に創始され、現在も実演されている芸能。能・狂言・歌舞伎・文楽・日本舞踊・邦楽・落語・講談等。	五穀豊穡・長寿・悪疫退散等を神に祈って行われる民間の信仰行事に伴い、各地域社会で伝承されてきた芸能。郷土芸能。
上記に関わる伝統工芸技術や楽器・用具用品、材料等		
古典芸能、民俗芸能に用いられる楽器・用具用品、またそれらを作るために必要な材料や伝統工芸技術。		

伝統芸能文化復元・活性化共同プログラムの採択事業



古典芸能・民俗芸能に用いられる用具等に関連する取り組み

年度	分野	計画名
平成30年度	民俗	上鳥羽に芸能六斎の復活を目指して－祇園囃子の創作
	★ 古典	柳川三味線のための胴皮新素材開発
	★ 民俗	ゴッタンの製造技法および基礎資料のアーカイブと交流ネットワークの創出
令和元年度	★ 民俗	新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索
	古典	新内節の発信と保存プロジェクト
	民俗	十津川盆踊りの伝承・保存・活用発信
令和2年度	★ 民俗	見島のカセドリ藁蓑製作技術の確保計画
令和3年度	★ 古典	古物重厚意匠糊地能楽扇の写し製作
	民俗	笛譜・唱歌制作による石見神楽の継承円滑化事業
	古典	三味線音楽のScratch教材開発：常磐津節を通じて日本の伝統芸能に親しむための教育プログラムづくりとその普及の試み
令和4年度	民俗	社・東条を中心とした播州音頭踊りの継承と発信プロジェクト
	古典	若手へ向けた鯖江人形浄瑠璃の技能継承と他地域との交流
令和5年度	民俗	郷土芸能の若手継承へ向けたネットワークの構築と発信手法の探索
令和6年度	民俗	石川県加賀市の獅子舞アーカイブを通じた次世代への芸能継承事業
	★ 民俗	各地域の鉦差しとの共同による剣の使い方調査および試作、担い手育成事業
令和7年度	★ 民俗	六斎念仏ほか民俗芸能で使用する鉦すりのリサーチと実演家による道具製作の模索・発信プロジェクト

共同プログラム：柳川三味線のための胴皮新素材開発

共同実施者：林美恵子（柳川三味線演奏家）

柳川三味線の胴皮に使用される猫皮が入手困難になったため、他の新素材による胴皮の代替品をリサーチ・開発するために申請。

以下、コーディネート

動物皮以外を使用していた過去事例のリサーチ

猫皮の物性調査

和紙製作者と試作品開発

楽器製作者による張り方開発
和紙胴に合わせた駒の開発

演奏者と和紙製作者、楽器製作者による
フィードバック、改良

お披露目会の開催
邦楽研究者や観客のフィードバック

改良し、完成へ
（事業報告書作成・公開）

平成30年度採択事業



楽器の皮に和紙を用いた先行事例

共同プログラム：柳川三味線のための胴皮新素材開発

共同実施者：林美恵子（柳川三味線演奏家）

事業後の成果

- 💡 京都を拠点とする柳川三味線奏者の多くが
舞台で使用している
→現在もフィードバックし和紙製作者が改良
を続けている
消耗していく様子も継続してリサーチ中
- 💡 他分野の三味線奏者から和紙胴の問い合わせ
あり！
- 💡 胴皮の他素材を開発する楽器製作者から問い合
わせあり



共同プログラム：新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索

共同実施者：祇園祭囃子方連絡会

祇園祭の囃子で使用する鉦すりの柄はかつて鯨の髭で製作されていたが、その後適切な代替品がないため、鯨髭に近い素材での鉦すりの柄の代替品の開発を行いたいということで、申請。

以下、コーディネート

鯨髭のリサーチ・物性調査

柄の製作業社と代替品素材の検討・リサーチ

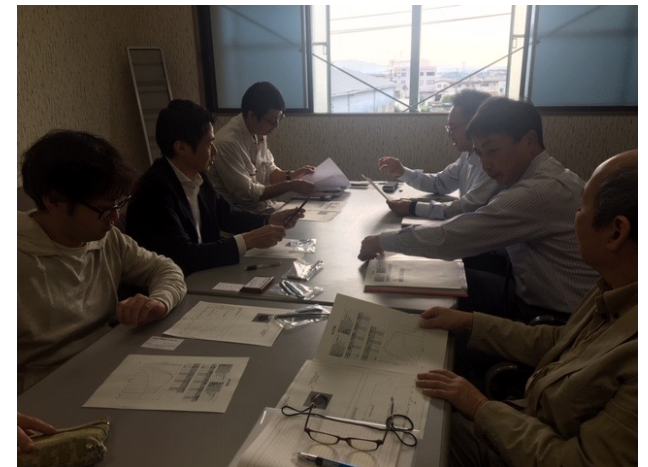
代替品の試作開発
プロセス記録・コーディネート

囃子方の試奏＆フィードバック
試作品の改良

頭の加工接着職人へ製作手法確認・プロセス記録

新素材の鉦すりお披露目会製作手法を記載した事業報告書作成・公開

令和元年度採択事業

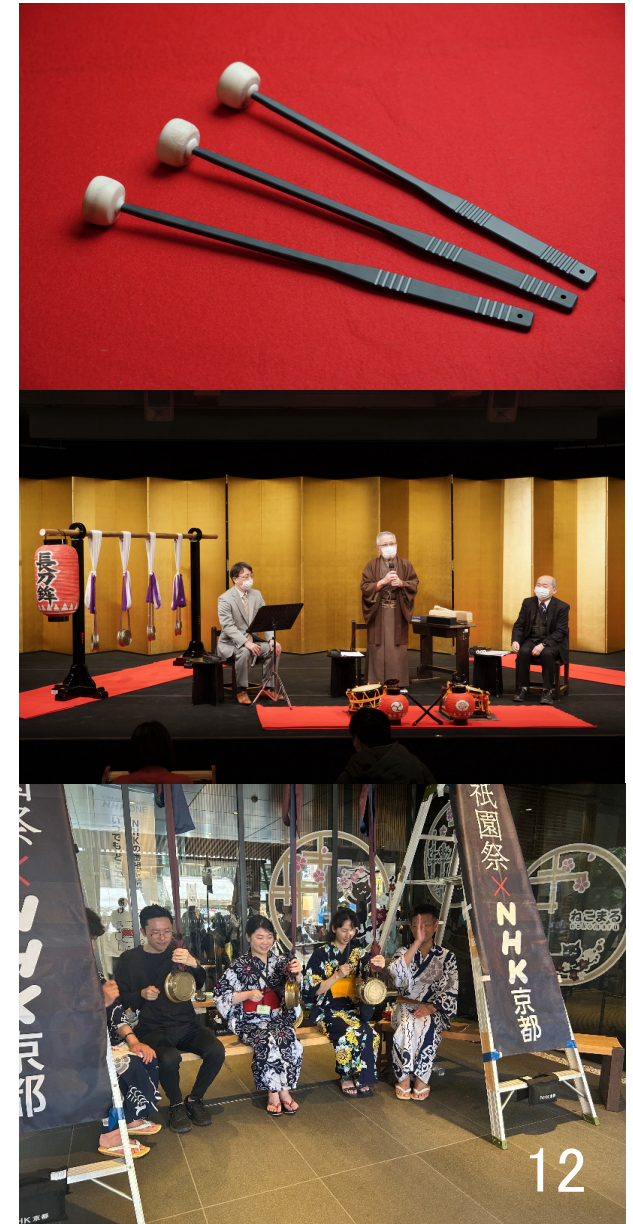


共同プログラム：新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索

共同実施者：祇園祭囃子方連絡会

事業後の成果

- 💡 祇園祭で、現在、多くの囃子方が使用している
囃子方の若手（鯨髭を知らない世代）が
柄の歴史的経緯についての関心をもった
- 💡 六斎念仏や他地域の民俗芸能団体から
柄について問い合わせあり！
→R7年度採択事業として六斎念仏の鉦すり自主製
作の可能性をリサーチ中
→お披露目会に、他地域の民俗芸能団体も
鉦すりの柄の情報収集に来られ交流を深めた
- 💡 柄の製作者は文化に携わる機会として重宝してく
ださっている
- 💡 祇園祭期間に企業と連携し、鉦すりの代替素材の
開発プロセスの展示と体験会を行っている
▶道具も含めた芸能発信に繋げている



共同プログラム：見島の藁蓑製作技術の確保計画

令和2年度採択事業

共同実施者：加勢鳥保存会

藁蓑の経年劣化により注文しようとした際、蓑の製作者がいないう状況になっており、保存会で九州の文化財関係者や他地域の来訪神の団体などにも相談し情報を聞いたが、地区と似た編み方のものがなく、保存会が蓑製作について学ぶ&確保する必要性を感じて申請。

以下、コーディネート

蓑製作者のリサーチ・藁研究者・職人を紹介

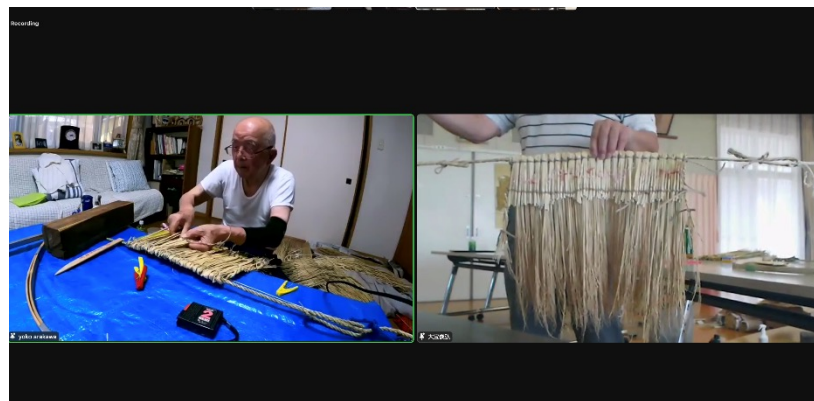
修復しやすい蓑製作の開発

講習会用_蓑の編み方教則本の作成

オンラインおよび対面講習会の開催・記録

蓑の作り方冊子・動画作成、公開

新たな蓑作り手への繋ぎ



コロナ禍、教える職人と保存会をオンラインで繋ぐ講習会

共同プログラム：見島の藁蓑製作技術の確保計画

共同実施者：加勢鳥保存会

事業後の成果

💡 各地の藁製作者から冊子の問い合わせが！
藁技術を伝えていく手法を探っており、編み物記号を取り入れた冊子はとてもわかりやすく他の蓑製作においても役立つという声あり

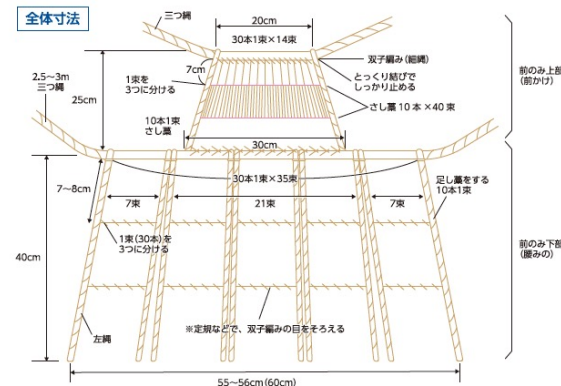
💡 見島のカセドリ行事および蓑製作に関心をもつ人が現れた！ 藁細工に関心があり、地方の藁調査も行っている。昔の蓑も見えていただき、製作手法を検討してもらっている

💡 九州の文化財担当者からも新たな藁製作者登場に関心をもたれており、他の芸能の道具復元や製作にも協力してほしいという相談あり

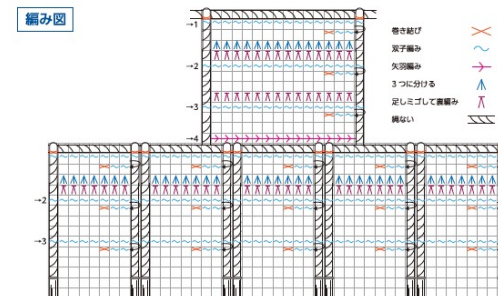


6-4 前みの

■ 前みのを編もう！全体寸法 ※籠や甲冑のように胴から下に分けて編む図面です。



編み図



TAROの共同に求められている役割

① 相談対応機能

他地域の取り組み事例なども含む

② 情報共有・アーカイブ機能

③ 必要な団体や機関などへの紹介

コーディネート機能

④ 人的リソースとして

連絡調整、第三者の協力・支援者として

地域や分野を限定せず、
相談しやすい場所であること
軽いフットワークをもつ

今後の展望

成果

- ◎TAROがコーディネーターとしての役割を果たしたことで、それまで繋がりのなかった人たちのネットワークが広がった。そのことによりTAROの認知度も高まり、毎年約300件の相談をいただくことができる組織になったこと。
- ◎「伝統芸能復元・活性化共同プログラム」によって、1つでも多くの現場を支えることができたこと。
- ◎京都の課題を解決するためには全国之力が必要だ、という仮説を実証できたこと。

課題

- 相談を受けたとしても、体制が弱いため、すべてに対応しきれないこと。
【京都市予算：約1000万円、TARO事務局スタッフ：2名（兼業）】
- 全国的なネットワークはまだまだ弱いこと。

今後必要なこと + 提案

- 全国的なネットワーク＆事務局体制の強化
→全国の伝統芸能文化にまつわる困りごとに対応することが、京都のためにもなるという考えで活動してきました。貴庁においても、コーディネーター育成、相談窓口の設置、ネットワーク構築の必要性についてご検討いただければ幸いです。